

コンクリートを補修するリハビリ工法の作業風景(福德技研提供)

# きらり\*企業テク



橋などの鉄筋コンクリート構造物は、長年潮風にさらされたり、二酸化炭素に触れてコンクリートが中性化したりするうちに内部の鉄筋がさび付き、ひび割れなどの劣化が発生する。この鉄筋のさびを防ぎ、構造物の寿命を延ばすための新たな補修技術で評価を得ているのが、広島市中区の「福德技研」だ。

## 構造物管理 防さびびで向上

### 福德技研 広島市 鉄筋コンクリートの補修技術



リハビリ工法に用いる器具を手に、「よりよい技術開発に取り組み」と意気込む徳納社長(広島市中区で)

だが、バブル崩壊の影響で1990年代前半に業績が大幅に悪化。「塗装業は価格競争になりやすく、同業者もかなり倒産した。別の事業を始めなければ生き残れない」という危機感があつた」と徳納副社長(64)は振り返る。

そこで目をつけたのが、コンクリートの補修工事だった。当時は、コンクリートのひびを埋めるなどの劣化対策が主流で、鉄筋に付いたさびの処理を重視せず、再劣化を繰り返していた。

開け、この水溶液を圧力で内部に注入する「リハビリ工法」を確立した。効果の高さや採算性が評価され、昨年度の「中国地域ニュービジネス大賞」に選ばれた。

【概要】 1966年、土木工事業「福德開発」として創業し、68年に塗装事業部を置いた。2010年から現社名。資本金2000万円、従業員20人(9月現在)。塗装業も継続し、住宅やビル、橋など幅広く請け負っている。

また、専門技術を持った人材の育成にも力を注ぐ。徳納社長が会長を務める一般社団法人「コンクリートメンテナンス協会」では、有識者を招いたフォーラムを開くなどし、コンクリートの維持管理や安全性の診断方法について、正しい知識の普及に努めている。

天気	きょう	広島	福山	呉	三次
北部 南部	午前 午後 夜				
北の あま	北の あま	30	30	30	30

あすのこよみ
10月30日
水 赤口
旧暦10月3日
日出 6:28



任期中の成果に支えられた

の外観イメージ図(JR西日本広島支社提供)

ラントや工事現場の映像を送り、会話も可能となるウェアラブル端末のセット

ヘルメットに取り付けられた端末(岡山県倉敷市林で)

現場に行く手間も省ける。セットに含まれる金具を

86・405・2177。